

緊急

# シンポジウム開催

## 桃陽病院のこれからの考える

2026年6月13日(土)14:00~16:00

場所 ラボール京都+zoom

(京都市中京区壬生仙念町30-2 [四条通り御前西入]  
電話 075-801-5311)

Zoomはこちらから →



ミーティングID: 823 2760 9927  
パスコード: 495069

- ★ 基調報告(事務局)
- ★ ミニ講演
- ★ 現場からの発言
- ★ 関係者の発言



## 桃陽病院ってどんな病院??

1952年、京都市伏見区に小児結核保養所(旧桃陽学園)として開設以来、時代の変化に応じて慢性疾患や心身症、発達障害へと対象を広げながら、医療の枠を超えた療養的視点を含めた包括的なケアを実践してきました。

最大の特長は1979年から始まった隣接する療養学校(現・京都市桃陽総合支援学校)との連携体制です。入院をしながら学びを継続できる「医療と教育の両立」は全国的にも希少であり、子どもたちの健やかな成長を支える柱となっています。

現在、施設の老朽化や少子化を背景に病院のあり方が議論されていますが、不登校児童や発達特性を持つ子どもたちへの支援ニーズはかつてないほど高まっています。子ども施策の観点からも、病院・医療者の果たすべき役割を明確にし、慎重な検討を求めています。

主催：桃陽病院のこれからをつくる会(共同代表：池添素、渡邊賢治)

お問い合わせ 京都社会保障推進協議会 電話 075-801-2526